

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年11月30日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	埼玉県	代表者名	大野 元裕
担当者部署	産業労働部	連絡先電話番号	048-830-3754
担当者役職	主幹	担当者氏名	雪平 宏
住所	330-9301 埼玉県さいたま市高砂3-15-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 拓也
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	論点思考の練習や仮説の立て方について理解が深まった。 現状分析や課題解決のためのデータがあまり存在していないことに改めて気づいた。 個別施策の企画に必要な情報収集のやり方をもう少し学びたかった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年11月25日	13時30分	16時30分	5	175
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	仮説をたてる視野が狭かった。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	いろいろな視点から仮説を立てられるようになる。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	仮説の立て方の方法を学んだ。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	仮説の立て方を学んだ。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	ワークショップで作成した仮説の立て方	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	施策の立案に必要なデータの収集方法及び分析方法	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 実施なし	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	いろいろな視点から仮説を立て、施策を立案する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

The screenshot shows a Zoom meeting in progress. On the left, a PowerPoint slide titled "目標・問題・課題" (Goals, Problems, and Tasks) is displayed. The slide content includes:

- 目標 (Goals):** スポーツを核とした新商品・新サービスが持続的に生み出される状態である (A state where new products and services centered on sports are sustainably produced).
- 課題 (Tasks/Challenges):**
 - スポーツ産業に参入したいと考えている企業が少ない (Few companies want to enter the sports industry).
 - スポーツ産業は儲けの種になるという認識がない (There is no recognition that the sports industry is a source of profit).
 - 県内企業は、参入の機会やノウハウがない (Local companies lack opportunities and know-how for entry).
 - スポーツチームは、人的リソースやノウハウに限りがある (Sports teams have limited human resources and know-how).
- 問題点 (Problems):**
 - 埼玉県は全国でも有数のスポーツ資源を有するにも関わらず、スポーツ産業に新規参入したいと検討している企業が少ない (Despite having one of the top sports resources in the country, few companies are considering new entry into the sports industry).
 - スポーツを核とした新商品・新サービスが生まれていない (New products and services centered on sports are not being born).
 - 県内GDPに占めるスポーツGDPの割合が全国で8番目に低い (The ratio of sports GDP to total county GDP is the 8th lowest in the country).

Additional text on the slide includes: "よい気づきですね。今回のワークをきっかけに、データとして必要になりそうなものを、整備していけるといいです。" (That's a good insight. It would be good if we could organize data that may be needed as a result of this work.)

On the right, a video feed shows a man wearing glasses and a dark jacket, identified as Takuya Sato. The background of his video feed shows a wall with a "YuMake" logo and some decorative items.

This screenshot shows a wider view of the Zoom meeting. The same PowerPoint slide from the previous image is visible on the left. The meeting grid on the right shows several participants:

- Takuya Sato (top left)
- 雪平 宏 (商業・サービス産業支...) (top right)
- 埼玉県松尾 (middle left)
- 岸 キリエ (商業・サービス産業支...) (middle right)
- 芦川 香奈美 (商... (bottom left)
- 松尾 一存 (商業... (bottom right)

At the bottom of the screen, there are labels for "Lenovo Tab M1..." and "Lenovo Tab M10 HD".